

2026年1月30日（金）市立ひらかた病院講堂にて、関西外国語大学訪問イベント「ひらきらカーニバル」が開催されました。関西外国語大学の学生さんと職員さんが“ひらかた”を盛り上げるために、当院の入院・外来患者さん、そして地域住民の皆様のために華やかで素敵なイベントを開いて下さいました。このイベントの特徴は、病気で当院に通院している患者さんのみならず、広く地域住民の皆様に参加を呼び掛けたことです。市民の皆様は、まだ病気がないうちから一度は市立ひらかた病院を訪れていただき、その生活の中で当院をより身近に感じて貰いたかったからです。コロナ禍で一旦途絶えてしまった活動を7年ぶりに再開したんです。



さあ、始まりました！エレクトーンによる情熱大陸のオープニングテーマ曲の演奏です。講堂中に迫力のある音色が響き渡ります。当院スタッフが用意した座席は、地域住民の皆様

様でびっしり満員、ご高齢の方に加えて、若い女性や赤ちゃんを連れた外国人家族の姿も見えます。当院スタッフも併せてざっと 150 人の方が参加して下さいました。すごい集客力です！さすが、北河内地域に根差した関西外国語大学＋市立ひらかた病院のコラボレーション・イベントです。



市立ひらかた病院 × 関西外国語大学
2026年1月30日 (金) 13:15~

ひらきら カーニバル

本日のプログラム

- 13:15 開会
- 13:20 ELP KENGO (エレクトーン)
- 13:30 落語
- 13:45 フラダンス部
- 13:55 少林寺拳法部
- 14:05 空手部
- 14:15 ギター部
- 14:25 ジャズ研究会BEATs
- 14:35 マジック
- 14:50 閉会

■ひらきらカーニバル
関西外国語大学と市立ひらかた病院が所在する「ひらかた」という地域に、明るさと癒しを表す「きらきら」とした学生たちのパフォーマンスを「カーニバル」に集約して表現しました。

■地域を盛り上げたいという「想い」を持つ関西外国語大学と市立ひらかた病院が、その「想い」を一つに7年ぶりに開催するものです。
関西外大生と職員によるパフォーマンスや発表をお楽しみください。
よろしければ、お帰りの際にアンケートにご協力ください。

華やかなフラダンス部、6人のフラダンサーは、みんなおそろいの花冠（レイ・ポオ）を頭に乘せ、色とりどり花柄のパウ・スカートを身につけています。ゆったりした両手の動きが優雅で綺麗です。続いて、迫力満点の少林寺拳法部と空手部、雰囲気満点のギター部とジャズ研究会 Beats の演奏、まるで学園祭のようです。

そして最後が圧巻のマジック!! 主任部長、実は大のマジック好き（笑）。ものすごく楽しみにしていたんです。マジシャン君は、ユーモアを加えながらもプロ顔負けの落ち着いた話しぶりで、あっという間に皆を惹きつけます。マジックにお決まりの小道具（ロープ、トランプ、スケッチブック、ルービックキューブ）もタイミング良く次々と出てきます。「先程の（トランプ）カードはこちらでしょうか？」大当たり!! 「どうして??」「え～??」会場がざわめきます。分かっているのに驚いてしまう、予想外で驚いてしまう、期待を裏切らない完璧なマジックでした。間違いない（笑）。

地域住民の皆様も拍手喝采、心ウキウキ。大満足でお帰りになりました。ひらきらカーニバルに出演して下さった関

西外国語大学の学生さん・職員さんは勿論、裏方仕事・司会進行役を務めて下さった実行委員の学生さん達に心より感謝の意を伝えたいと思います。華やかで楽しくて、若さ溢れる素敵なイベントでした。地域住民の皆様も、きっと市立ひらかた病院を身近に感じて下さったと思います。医療従事者として日々厳しい現場で働いている主任部長も、ほんのひと時、肩の荷を下ろして楽しい気分になりました。

マジシャン君はまだ大学2年生とのことで、是非、来年も市立ひらかた病院「ひらきらカーニバル」の大トリを務めに来て下さいね。楽しみに待っています！



お写真はマジシャン快音君から頂きました。

お写真掲載の許可を頂いております。

楽しかったです！ありがとうございました。